

秋田河川国道事務所管内で危機管理演習が開催されました。



演習状況(防災エキスパート)

平成21年1月28日、秋田河川国道事務所管内において、「雄物川下流危機管理演習」(ロールプレイング方式)が開催されました。

雄物川下流における洪水発生時に、河川に係わる防災対策の判断・指導・実施が迅速且つ適切に対応できるようにすることを目的に演習がすすめられ、2名の防災エキスパートの方々が参加しました。

青森河川国道事務所管内でフォーラムが開催されました。

平成21年2月4日、青森市内のラ・プラス青い森において、ITSあおりフォーラム2009が青森河川国道事務所他後援のもとに、開催されました。2名の防災エキスパートの方々が参加され、講演者及びパネラーのお話を熱心に聴講しました。

フォーラムの内容は下記のとおりです。

Stage-1(講演)

「ITSとモビリティ・マネジメントの活用について」

(財)計量計画研究所 道路計画研究室 室長 工学博士 牧村 和彦 氏

「全国初の除排雪に関する取り組みについて」

社会起業家 葛西 章史 氏

Stage-2(パネルディスカッション)

「ITを活用した効率的・効果的な除排雪に関する取り組みについて」

【コーディネーター】

あおりITS推進研究会会長/青森大学経営学部准教授

中田 和一 氏

市民の「除排雪に関する満足度」【パネラー】

市民サポーター

佐々木 由美子 氏

青森市都市整備部道路維持課主幹

長井 道隆 氏

KDDI(株)FMC推進本部FMCソリューション4部長

田村 俊之 氏

NPO法人青森ITSクラブ理事長

阿部 一能 氏

山形河川国道事務所管内で発生した落石事故に対応しました。

平成21年2月14日未明に、国道48号(東根市萱倉地区地内)の第2赤滝橋の上に融雪雪崩が原因と思われる落石事故が発生した。この落石事故の原因調査及び処理の指導のために2名の防災エキスパートの方々が出動しました。幸い早期に落石事故の事故処理が終了し、大きな交通障害も発生しませんでした。

「岩手・宮城内陸地震合同調査委員会」調査状況途中報告。

「東北地方防災エキスパートだよりvol.14(P4/8)」で御紹介しておりました、「岩手・宮城内陸地震合同調査委員会」(土木学会東北支部・地盤工学会東北支部・日本地すべり学会東北支部・東北建設協会 約40名)の調査状況の途中報告をお知らせします。

岩手・宮城内陸地震の発生から10ヶ月弱が経過した現在、委員会では国土交通省 東北地方整備局関係機関を始め、岩手県・宮城県・秋田県の各県及び森林管理署関係機関、大学等の教育機関からの多大な御協力のもとに報告書の完成を急いでおります。

具体的な委員会の調査としては、学識経験者・専門機関等の他、10名の防災エキスパートの方々が調査を行い、各専門分野で活躍される方々の被害状況調査や、応急復旧の対応状況等の調査が行われております。



市野々原地区(磐井川)の河道閉塞



浅布地区(迫川)の河道閉塞



祭時[まつるべ]大橋(国道342号)の落橋



駒の湯(宮城県栗原市)の土石流

編集後記

このたび人事異動に伴い、平成21年4月1日より、防災エキスパート事務局の担当者が変更になります。

短い間でしたが、「防災エキスパートだより」をご愛読いただきまして、ありがとうございました。担当が変わりましても、引き続き、防災エキスパート事務局の活動及び、「防災エキスパートだより」を宜しく御願い致します。

防災エキスパート事務局 地域事業部 記